



# AbBa便り



## ともに喜ぼう

ハレルヤ！主のみ名を崇めます。

全国の父の学校修了生の皆様、如何お過ごしでしょうか。

3年余りにわたり、日本運動本部長として父の学校の基盤を作り、貢献して下さった姜卿求兄が退任されることになり、その後任として、2010年度の本部長を拝命致しました。

主にお仕えして行きたいと思しますので、よろしくお願い致します。

振り返ってみますと、2003年に韓国人の兄弟方を通して、父の学校が大阪でスタートしました。

運動本部が設立されてからは、姜本部長の下、沖縄から札幌まで素晴らしい祝福の種が蒔かれました。そして、これまで全国で38回の父の学校が開催され、修了生も約750名に達しました。

韓国人の兄弟方によって蒔かれた種が豊かな実を結ぶために、私たち日本人が引き継いで行く時が、いよいよ到来したのだと思います。

父の学校が韓国でスタートしたのは、社会の抱えている問題が家庭の問題であり、家庭の問題がまさに父の問題であるという認識からでした。そして、「①聖書的な父親像を求め、②父親の権威を回復させ、③間違っ

て用いられている父親の権威を正し、④家庭に父親を連れ戻そう」という目的で始めました。これはまさに、日本の現状でもあります。

また、父の学校は「①聖霊運動であり、②生活実践運動であり、③信徒運動である。」とあります。

指導牧師の張在潤先生は「私たちは変化され続けなければなりません」と言われました。父の学校を通して、私たちが日々変えられ、私たちの家庭が神様から祝福を戴く時、日本中に父の学校の恵みが拡大して行くのだと確信します。韓国の兄弟方のサポートを戴きながら、日本に相応しい父の学校を目指して、皆様と共に主にお仕えして行きたいと思します。

母教会を大切にし、家族の喜び・恵み・祝福と一緒に分かち合うことができたらどんなに素晴らしいでしょう。そして、日本中の全てのご家庭に神様の祝福を届けましょう。皆様と一緒に父の学校にお仕えしていける恵みに心から感謝します。

「それで、人はその父と母を離れて、妻と結び合い、一体となるのである。」(創世記2:24)



広山 国臣 (東京2期、本部長)

## 本部長を終えるに当たって

姜 卿求 (東京1期、初代本部長)

神様の無限な愛と恵みが日本父の学校の兄弟たちの家庭の上に豊にありますように。

2007年2月から2009年8月まで父の学校日本本部長として、日本の家庭回復のために仕えるように導いてくださった神様の深い恵みに感謝しています。

始めに、緊張と葛藤の連続だった私たちの夫婦関係が、神様の恵みで平穏な家庭に回復したことを感謝します。

日本全国で20回余の父の学校の奉仕をしながら、家族間の葛藤で痛みを経験している多くの兄弟たちの悩みを聞くことができました。お母さんを捨てたお父さん、子どもに厳しくして、無理な期待をしている親に対する恨み、結婚の後にもお母さんの絶え間ない干渉に苦しむお父さんたちの葛藤、離婚、別居、などの深刻な夫婦関係、お子さんたちの自殺、引きこもり、本人の性中毒、アルコール中毒、痴漢など、普段決して聞くことができない話が溢れるようになってきました。

いつもは、まじめで、無口だったお父さんたちが、こんなにも多くの涙と痛みを持っていたのに驚きました。私たちは一緒に抱きしめて泣きながら祈りました。そのつど聖霊の働きを経験しました。多くの方々驚くべき癒しと回復を経験しました。新しい人生を切り開いて行こうという決断し、献身するのを見てきました。

私は父の学校の奉仕に当たって、次の御言葉を心に刻んでいました。

「それゆえ、男はその父母を離れ、妻と結び合い、ふたりは一体となるのである。」(創世記2:24)

「あなたの神、主であるわたしは、ねたむ神、わたしを憎む者には、父の咎を子に報い、三代、四代にまで及ぼし、わたしを愛し、わたしの命令を守る者には、恵みを千代にまで施すからである。」(申 5:9-10)

「主にそむいてはならない。その地の人々を恐れてはならない。彼らは私たちのえじきとなるからだ。彼らの守りは、彼らから取り去られている。しかし主が私たちとともにおられるのだ。彼らを恐れてはならない。」(民14:9)

神様は私たちと共におられました。私たちの小さな献身と決断が新しく来られた兄弟たちの癒しと回復のために用いられました。私たちの罪の赦しや傷の癒しの証をも用いられました。

3年間の父の学校の奉仕を通して得た私の結論は次の二つです。神様は今日も生きておられて、私たちを深く愛してくださるということ。そして、私の人生を自分の力で生きるより、神様に委ねることによって、ずっとすばらしい人生を送ることができるということです。

これからは神様が私の人生をどこに導かれるのが期待しながら、神様の十字架の光栄に従っていくことを願っています。

神様が父の学校の兄弟たちに、信仰の確信を与え、聖霊の油を注いでくださるように、みんなが日本の家庭の回復に大いに用いられるように、イエス・キリストの御名によってお祈りします。



## 運動本部だより

3年間、事務局を担当しました池川豊吉です。修了後、洗礼を受けて奉仕が始まりました。直ぐに運動本部が発足しました！以来、今迄に30回近い父の学校の開催に関与出来、多くの修了生と出会い感謝で一杯です。来年からは新しい体制で神様の計画を更に進める準備が、広山新本部長、小泉新副本部長により、為されています。ご期待下さい！

2009年度の既設の計画を下記します。

- (1)秋田1期に向けて「父の学校説明会開催」、9/13(日)土崎グロリアチャペル(Y8期、安岡兄)
- (2)2010年新役員任命式(洗足式)開催、9/19(土)本部にて
- (3)神戸3期開催、10月10~12日神戸東部教会。  
(奉仕者募集中！池川兄まで)
- (4)横浜9期開催、10月10~12日横浜オンヌリキリスト教会。
- (5)沖縄献身者グループ開催、10月20日以降で設定中  
(奉仕者募集中！池川兄まで)

- (6)沖縄3期開催、11月14日(土)21(土)那覇バプテスト教会。
- (7)長野1期開催、11月21(土)22日23日(祝)。聖山高原チャペルで合宿で。(奉仕者募集中！池川兄まで)
- (8)仙台1期は来年初の1月開催の予定。
- (9)その他、来年は「福島」「石巻」「岡崎」「埼玉」等の開設に向けて年内行動開始。

更には関東地区の修了生・お住まいの別々に祈りの会を始める予定。

本部(西早稲田)、横浜(関内)から遠い修了生には、北東京地区(清瀬)、南東京地区(品川)、東東京地区(足立)西東京地区(世田谷)、千葉(柏、松戸、浦安等の三ヶ所)、埼玉(北埼玉、南埼玉)といった具合に年内から始めます。韓国語分かち会い(ナムパン)が10月から本部で開始。

池川 豊吉(東京3期、本部事務局長)

## 大阪6期を終えて

今回の大阪父の学校「6期」は、大阪支部にとって「初めての愛」を回復した新鮮なものに成りました。父の学校がまさに聖霊中心の働きであり、全てを“神が成して下さるのだ”という体験をさせて頂きました。

「6期」開校が決定して初めての木曜祈禱会は5名の参加者で始まりました。その後の祈禱会でも7名が一番多い参加者でした。奉仕者も管理員42名、その一人は大阪2期の修了生ですが、奉仕は初めての兄弟でした。北浜3期の修了生も奉仕者として参加されました。でも父の学校の奉仕は初めて、しかし、奉仕者が足りないと言うのでテーブルリーダーをお願いしました。

しかし、大阪支部長の告白は何時も淡々としていて積極的でした。進行者の兄弟も、物静かで柔和な兄弟でしたが、優しさと愛に溢れた信仰の人でした。

証もキャンセル者が出て、最後の日の証者は決まらないままに大阪6期はスタートしました。しかし、不思議と、不安も無く、これが当然の事として感じられました。未だかつて経験した事の無い少ない奉仕者でしたし、献身者スクールも無く、まるで皆初心者のように初々しくそして純粋な雰囲気がありました。そして、賛美チームは最後まで神の命に溢れていました。

父の影響、父の男性、父の使命と霊性、父と家庭と一回一回進行するに連れて、優しい王たちとして、忠実な戦士たちとして、謙遜な男たちのかもし出す雰囲気は、日々増して美しく、参加者を感動させているのが分かりました。

そして、最後の日の証者は、参加者の中から選ばれました。父の学校で受けた恵みを、変わり始めている自分を涙しながら語って下さいました。奉仕者達も父の学校の素晴らしさに改めて感動しました。

それから、全てが終わって少ない奉仕者が最後の祈りをしようとした時『これが父の学校の光です。大阪父の学校は、今、再び新しく生まれてスタートしました。後ろを振り返らずに前に向かって、この光を守りながら進みましょう』と大声で叫んで居ました。

父の学校は、聖霊中心の働きです。聖書に忠実な奉仕者です。そして生きています。一回一回の父の学校に同じものはないでしょう。その都度新しい事が起きるでしょう。ただ 聖霊が働かれる、美しく、優しい男たちの学校です。

参加申し込み者24名中、22名が修了しました。

主よ！私が父親です！アーメン

永吉 昭紀(大阪3期、指導牧師)

## 支部だより<大阪>

本部発足3周年を迎えるに当り「abba便り」の創刊を感謝します。

大阪支部も7月に大阪6期を開催しました。これからも父の学校が家庭の回復を通じて、希望に輝く社会の醸成に寄与し、社会運動として成長します様に、修了生が一致して進んでいきたいとお祈りしています。

崔 奇寧(大阪1期、大阪支部長)

## 皆で作ろうabbaページ！ アイデア募集中・・・です！



例えば 1) リレー執筆は如何でしょうか？  
2) 我が家のバプテスマ物語で繋がるのも良いですね！  
3) 父の学校で出会った友の紹介記事も！  
読者ページのイメージでアイデアや次号に載せる原稿をお待ちします。

## 支部だより<沖縄>

ハレルヤ！主の御名を賛美します。2007年9月沖縄1期：受講生・修了生35人（うちノンクリスチャン3人、牧師10人）、2008年2月沖縄2期：受講生31人（うちノンクリスチャン5人）、修了生28人（うち牧師・チャプレン4人、英語のみでの受講生4人）で、現在は1・2期修了生の66人が同窓会員となっています。沖縄3期（今年11月14日と21日の2日間）の開講に向け、毎週火曜日午後7時半より那覇バプテスマ教会で祈り会を持ち、主にお導きを祈り求めています。離婚率や失業率が高い沖縄県だからこそ、主が癒したい家庭のために父の学校が用いられることを願っております。外に対する活動のみならず内に対する活動として、9月21日には修了生の家でホームパーティーを開催し、家族ぐるみの親睦会も予定しています。

兄弟たちの親睦もさることながら、工事中の夫に愛される妻や子供たちの会話の中にも、主が微笑みかけて下さる事をお祈りしています。

安谷 正(沖縄1期、沖縄支部長)

## 後援金のご案内

父の学校の活動は修了生の支援で行っています。今回、本部基金の為に振込口座を新設しました。「郵貯銀行の振り込み専用の口座」には振り込み手数料のご負担はかかりません。振込用紙を同送致しましたので、何卒宜しくお願い致します。修了生が毎月小遣いの十分の一・1000円を基準に、年間12,000円を目安にご協力頂いています。

### 後援金の振込口座

#### 振込口座名義

父の学校日本運動本部(併ガッパホウド'ホグ)

#### 店名(店番)

0一九(ゼロイチク)店(019)

#### 口座番号

当座 0401481

これは、何でしょう→  
次号をおたのしみに！



## 父の学校との出会い

私は横浜3期に参加しました小泉金次郎です。このたび父の学校副本部長に任命されました。未熟者ですが、広山本部長を支えて精いっぱい奉仕させていただきますので、お祈りお願い致します。

父の学校の話聞いたのは愛する妻(昌子)が先でした。06年9月、韓国に行き、オンヌリ教会の礼拝に出席し、家庭学校や父の学校の働きを聞きました。

当時我が家には、夫婦や親子の問題について祈りに来る方々がおられたので、こういう学びが日本でも出来ると良いなと思いました。しかし、その頃は宮城県白石市に住んでいましたので、父の学校の情報は知りませんでした。

その後、06年11月に転勤で埼玉県川口市に来ました。07年11月23日に友人の結婚式があり、愛する妻、昌子が横浜2期のA兄の隣で話をした時「最近父の学校の奉仕をしています」と言われ、12月2日の横浜3期に参加しました。その後、昌子も母の学校東京3期を修了しました。

私は横浜3期を修了後、福岡、東京、横浜、神戸の奉仕をさせて頂きましたが、その都度素晴らしい恵みを体験させて頂きました。

私達夫婦の願いは、将来父の学校と母の学校が同時に開催され、「わたしとわたしの家とは共に主に仕えます。」(ヨシユア記24:15 口語訳)と告白出来る家庭が一つでも多く起こされるようにと祈っています。

小泉 金次郎 (横浜3期、副本部長)



## 修了生の結集を

横浜8期を終え、8月23日に新宿1・2・3期と合同の同期会には19人が参加しました。修了生の力強い、また心を込めた証に皆が感動を覚えました。証の代わりにバイオリンで賛美歌を演奏してくれた兄弟もありました。

8月27日(木)の父の学校の祈禱会では、QTの分かち合いののち、感謝と展望の祈りを捧げました。今までの流れを振り返りつつ、これからのビジョンを語り合いました。

特に、多くの修了生が生まれていますが、その後なかなか集まりにくい状況があり、また課題を抱え込んでしまうケースも見られます。集まって共に課題をお分かち合い、祈りあうことができるよう、いろいろなアイデアが出されました。例えば4ヶ月ごとの父の学校(現行)の間に、月例の楽しい交わり会(夫婦・家族とともに)、そして木曜祈禱会、といった形も考えられます。そうした中で祈禱会の分散化も進められると思います。

横浜オンヌリ教会の深いご理解と激励を頂いておりますので、今後ともできる限り「教会と社会に仕える父の学校」を目指して進みたいと願い、祈っています。

横溝 達夫 (横浜4期、横浜支部長)

## 横浜8期/新宿1・2・3期合同同窓会

